



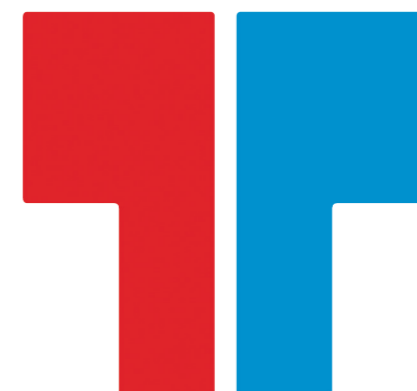
※地図の内容は変更になる場合があります

電車でお越しの方
ゆりかもめ「テレコムセンター」駅 徒歩約4分
りんかい線「東京テレポート」駅 徒歩約18分 都営バス約8分
主要駅からの所要時間 新宿駅から約40分 東京駅から約30分 立川駅から約90分

バスでお越しの方
都営バス 海01系統:門前仲町駅 発
都営バス 波01系統:東京テレポート駅前 発
京急バス 森30 大森駅東口 発
→「東京港湾合同庁舎前」下車すぐ

所在地 〒135-0064 東京都江東区青海2-4-32 TIME24ビル 1～3階

お問合せ先 施設の利用・予約に関するお問合せは ☎0120-86596-1
受付時間/月～金 9:00～17:00(土日祝・年末年始除く)



TOKYO GLOBAL GATEWAY 2024



会社概要	
名称	株式会社 TOKYO GLOBAL GATEWAY
代表者	代表取締役社長 土坂 恭司(株式会社市進ホールディングス専務取締役)

設立までの流れ	
2016年3月	東京都より「英語村(仮称)」事業実施方針及び募集要項を公表
2016年9月	株式会社学研ホールディングス、株式会社市進ホールディングス、株式会社エデュレエルシーエー、一般財団法人英語教育協議会、株式会社博報堂の5社コンソーシアムが最優秀事業応募者として決定
2017年2月	株式会社TOKYO GLOBAL GATEWAYを設立
2018年9月6日	開業

最新情報を更新中!
<https://tokyo-global-gateway.com>
TGG 検索

東京都教育委員会と
株式会社TOKYO GLOBAL GATEWAYが提供する
東京都英語村

TOKYO GLOBAL GATEWAYがお贈りする 体験型英語学習プログラムの5つの特長

TOKYO GLOBAL GATEWAY (TGG) で楽しめる
英語体験プログラムの特長をご紹介します。

英語が飛び交う非日常的な空間で 成功体験が得られる！

イングリッシュスピーカーとのやりとりやさまざまなプログラムを通じて、「わかった」「通じた」という英語コミュニケーションの成功体験が豊富に得られます。

児童・生徒8名につき1名の イングリッシュスピーカーがずっとサポート！

児童・生徒8名に1名のイングリッシュスピーカー（エージェント）が体験中はずっと付き添い、英語漬けの環境を体験できます。

小学生から高校生までさまざまな レベルに対応し、みんなが楽しめる！

英語を習いたての初級者から習熟度の高い上級者まで、さまざまなレベルの英語力に対応したプログラムをご用意。みんなが英語を話す体験を楽しめます。

国際機関やグローバル企業、海外の団体等と 連携したプログラムも用意！

国際機関や企業、海外の団体等と連携し、児童・生徒が社会や経済の動態、ダイバーシティを肌で感じ、世界に目を向けるきっかけを提供します。

英語教育の専門家が監修し、 実践的かつ有効なプログラム！

英語教育の専門家がプログラム開発に携わり、また先進的なCLIL（内容言語統合型学習）の考え方を取り入れるなど、英語教育としての品質を保証します。

アトラクション・エリアと アクティブイメージョン・エリアの2エリアで展開！

英語「を」活用！ アトラクション・エリア

日常生活でのコミュニケーションを
さまざまな場面で体験できます。

英語「で」学ぶ！ アクティブイメージョン・エリア

英語を用いて、実践的かつ探求的な学習を、
グループワークで体験します。

⇒プログラム内容については4、5ページをご覧ください。

着いた瞬間からそこは 英語だけの世界！

近年、世界のボーダーレス化が進み、私たち日本人のグローバル化が喫緊の課題となっています。そのような新しい時代に向けて、わが国の未来を担う子供たちの英語教育においても、様々な改革や取り組みが行われています。

TGGは、未来のグローバル人材育成の一助となるべく、コミュニケーションツールとしての英語を通じ、世界中の多様な人々とつながる「ワクワク」する体験を創造いたします。そして、ご来館いただいた皆様に、英語で「伝わる」感動、「わかる」感動、「協働する」感動を提供いたします。

TGGの特長は、ここに来れば英語を使いたくなる「環境」、「プログラム」、「イングリッシュスピーカー」の三位一体であることです。

ゲートをくぐると、そこはもうグローバル・ワールド。日本を遠く離れた外国に降り立ったような空間に英語が飛び交う世界です。オールイングリッシュの環境で、ご自身の英語の「力試し」をしていただきます。

TGGで体験するプログラムは、最新の知見に基づいたオリジナルメソッドによって開発されました。

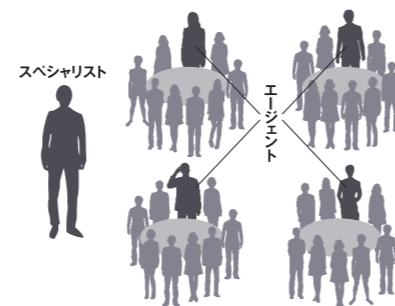
その「環境」と「プログラム」をつなぐ水先案内人として、エージェントと呼ぶ「イングリッシュスピーカー」が、体験する児童・生徒をサポートし、徹底的に英語でのコミュニケーションを促します。

TGGという非日常的な空間の中で、気がつけば自ら率先して英語を話し、英語で相互理解が生まれている。この感動こそが「成功体験」として、来場者に「楽しかった。もっと英語が話せるようになりたい。」という学習意欲をもたらすものと確信しております。

東京から世界へ。

TGGから世界へ。

英語で「伝わるって、すごい！」という感動を、ひとりでも多くの「未来のグローバル人材」たちに体験していただきたい。それが私たちTGGの願いです。



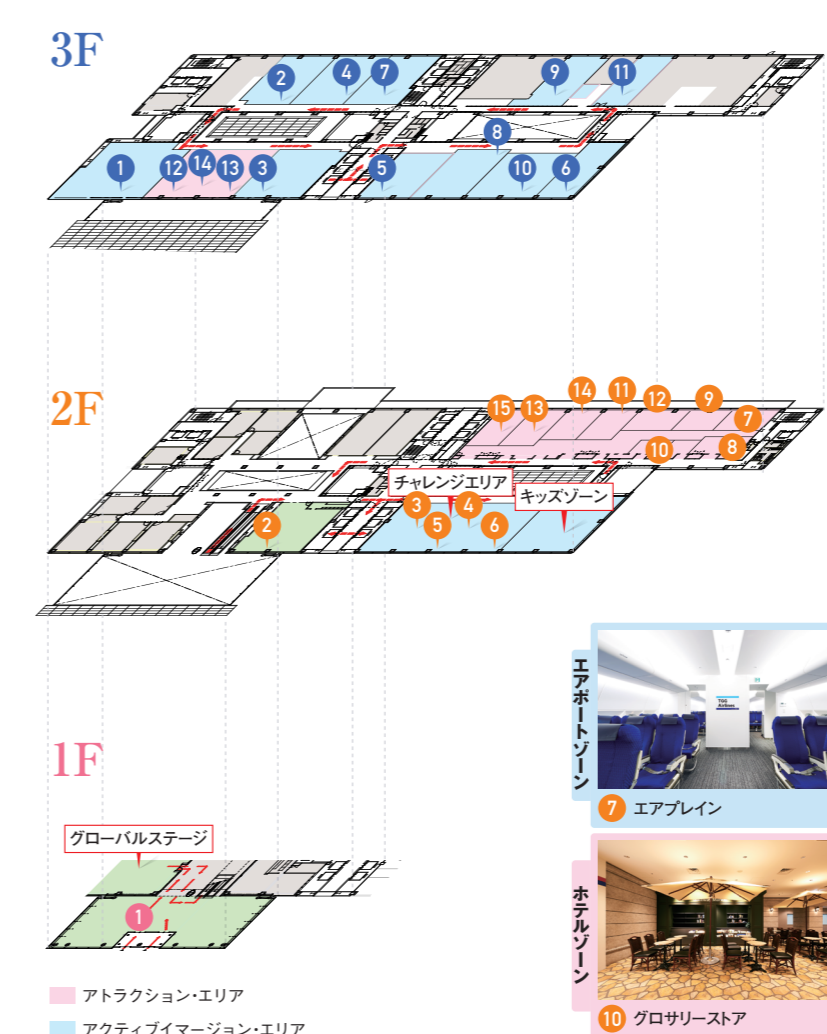
▲グループは児童・生徒8名とエージェント1名で構成されます。アクティブイメージョン・エリアでは、スペシャリストがすべてのグループを対象にプログラムをリードし、エージェントは各グループをサポートします。

Facility

施設

3フロア、総面積約7,000㎡の 広大なスケールで展開

施設のフロアマップと各スペースをご紹介します。
エントランスは空港をイメージした空間で
皆様をお出迎えます。



2階にはアトラクション・エリア、3階にはアクティブ・イメージョン・エリアを中心に展開。
7,000㎡は一般的な学校の80教室分[※]にもなります。
※イラストは実際の施設と異なる場合があります。
※プログラム可能エリアの総面積に対して、1教室を文部科学省が国庫補助基準としている74㎡で算出。

Program

プログラム

英語教育の専門チームが開発した充実のプログラム！

英語「を」活用する「アトラクション・エリア」と、英語「で」学ぶ「アクティブイマージョン・エリア」のプログラムをご紹介します。

アトラクション・エリア

ミッションカードを使って海外で遭遇しうる多様な場面に挑戦

ここでは、日常生活シーンを想定したプログラム（1ゾーンあたり3種類）を体験。まるで海外にいるかのような擬似空間は、子供たちが積極的に英語を話してみようとトライする気持ちを育みます。（所要時間は1ゾーンあたり約1時間です）※1ゾーン2グループ以上でお申し込みください。

プログラム	初級	中級	上級	3レベルで展開するミッション例
エアポートゾーン	●			・機内で快適に過ごすために、雑誌や飲み物、ブランケットなどのアイテムを入手する。 ・状況を説明したり、具体的な描写をしたりしながら、免税品の購入や現地の情報を入手する。 ・座席変更をお願いしたり、遅延で乗継便に間に合わないなどのトラブルに対処したりする。
	●	●		・購入したい品物のサイズや柄など、店員に好みを伝えながらおみやげを購入する。 ・友人や家族などに贈りたい複数の品物について、具体的に特徴を伝えながら購入する。 ・不良品などの理由で、購入したい商品の交換や払い戻しについての要望を伝え、交渉する。
	●		●	・トッピングやドレッシング、サイドオーダー等も含めて、希望の食べ物や飲み物を注文する。 ・料理の具材を抜いたり追加したりして、好みに合わせた食べ物や飲み物を具体的に注文する。 ・特定の食材を避けて注文したり、注文した料理が来ないなどのトラブルに対処したりする。
ホテルゾーン	●			・部屋のサイズやベッド数、窓から見える景色などの要望を伝える。 ・ホテルの部屋への具体的な要望を伝えたり、周りの施設・アクティビティについて尋ねたりする。 ・騒音や空調などの不具合で部屋を変更したいという場面などで、トラブルに対処する。
	●		●	・スポーツをしている時にケガをしたなどの想定でクリニックに行き、痛みや部位などを伝える。 ・気分が悪い、熱があるなどといった症状を伝え、医師からの質問に答えて適切な薬を処方してもらう。 ・翌日に大事な試合があるので眠くならない薬を処方してもらいたい、などの希望を伝える。
	●	●		・希望のサイズや必要な個数を伝えながら、食料品や日用品を購入する。 ・食料品や日用品など、購入したいものについて具体的な特徴を伝えながら購入する。 ・クーポンなどを使ってお得に買い物をしたり、不良品の返品や交換を要求したりする。
トラベルゾーン	●			・歯ブラシやばんそうこうなど、日常生活で使用するアイテムを購入する。 ・身体の具合が悪い、熱があるなどの症状を伝え、必要な薬などを購入する。 ・購入した薬や品物、アレルギーの有無などを伝え、商品の返品または交換してもらう。
	●	●		・ハンバーガー・ポテトやドリンクなど、それぞれの種類やサイズなどの希望を伝えながら注文する。 ・ドリンクの水の有無やトッピングなど、具体的に希望を伝えながら商品注文する。 ・注文と違うものが出てきたので、要望を伝えて希望通りの食べ物を注文する。
	●		●	・滞在先で体験したいアクティビティを選び、旅行プランをつくる。 ・滞在先でのホテルやレストラン、アクティビティを選び、具体的な旅行プランをつくる。 ・限られた予算のなかで、より便利な立地のホテルに変えたり、条件にあったレストランに変更したりする。
キャンパスゾーン		●		・サマーキャンプなどのイベントの日程を確認し、参加申し込みをする。 ・キャンパス内のアルバイトなどについて質問したり、希望のシフトを伝えたりして応募に必要な情報を得る。
		●	●	・授業に必要なテキストや、学校生活で使う文具などを要望を伝えて購入する。 ・授業に必要なテキストを購入したが、履修取り消しのために返品をしたり、交換の交渉をしたりする。
		●	●	・軽食とそれに合う飲み物などの細かい希望を伝えて注文する。 ・購入したマグがかけていたので新品と交換してほしいことを伝える。

※キャンパスゾーンは中学生・高校生が対象です。

TGGでは「初級」「初級+」を英語初学者から英検5級レベル（CEFR-JのA1未満）、「中級」「中級+」を英検5級から準2級レベル（CEFR-JのA1~A2）、「上級」を英検2級レベル以上（CEFR-JのB1以上）と設定しています。

英語を使えるようになるための“実践”の機会

英語を学び続けるには、PIC サイクル[®]を回していくことが大切です。PICのPはPractice(練習)のことで「個人練習」を意味します。次のIは授業などで行う「やり取り (Interaction)」のこと。最後のCはCommunicationを意味して、英語を使う「実践」という意味です。これらのどの要素が欠けても、自律的に学ぶ児童・生徒を育てることは難しいと思います。授業改善が進み、授業中にI(やり取り)に多くの時間が割かれるようになりました。しかし、英語が生活言語ではない日本国内では、C(実践)の機会が圧倒的に少ないために、PIC サイクル[®]が機能せず、使える英語力がなかなか伸びません。

TGGの来場者は海外での生活や日常の場面を擬似体験できます。つまり、C(実践)の機会を提供します。現実に近い場面で、多様な文化背景をもったイングリッシュスピーカーと、少しチャレンジングなやり取りを英語「で」体験できます。自分の英語が通じることの達成感を得たり、あるいはまだもっと学ばなければいけないことに気付いたりすることで、次のPの個人学習の動機付けになります。TGGを上手に活用され、一人でも多くの児童・生徒たちがPIC サイクル[®]に沿って学ぶ自律的学習(学修)者になることを願っています。



TGG プログラム監修者
東京国際大学教授
立教大学名誉教授
NHK「基礎英語」監修者
松本 茂

アクティブイマージョン・エリア プログラミングやダンス、国際問題などに英語「で」挑戦

ここでは、グループで実験したり企画したりと共同作業を通じて、英語で専門知識を身につけられるプログラム（60分/120分）を体験。CLIL（内容言語統合型学習）の視点で開発されたプログラムもあります。スペシャリストを指南役に行われ、エージェントはサポート役に回って盛り上げます。※下記プログラムについては、3グループ以上でご予約ください。

プログラム	レベル					内容例
	初級	初級+	中級	中級+	上級	
身近なものから効果音を作り出そう	●	●	●	●		効果音がどのような場面で使われるかやどうやって作られるのかを学び、音のない映像を題材に、シーンに合う効果音を適切なタイミングで入れる体験をし、グループ間で話し合う。
コマ撮り作品を作ろう	●	●	●	●		コマ撮り作品がどのように作られているのか、どんな動きができるのかを学習する。専用のソフトを使い、グループごとでのディスカッションを通して、役割分担をしながらコマ撮り映像を制作し発表する。
ダンスパフォーマンスをしよう	●	●	●	●	●	体の部位や方向、動きなどの語彙をふんだんに使いながら、いくつかの基本のステップや体の動きを学ぶ。グループに分かれてディスカッションしながらダンスに合わせて言うチャンスを作成したり、グループの特徴を表すポーズを考えたりして、発表し合う。
演劇をしよう	●	●	●	●	●	ボカルトレーニングで声の出し方やシチュエーションに合わせた表現方法（強調、感情表現など）を学び、出される設定に対してセリフを考えベアで実演。即興的に考え、表現豊かに伝える力を養う。
火星での生活を考えよう	●	●	●	●	●	「火星」とはどのような惑星なのかを知り、地球と火星の類似点や違いなどを学びます。VR空間内に作られた火星での暮らしのイメージ動画を見ながら、食べ物や電力など生活に必要なものについてグループで話し合い、発表します。
情報やデータをビジュアルで伝えよう	●	●	●	●	●	情報やデータを視覚的に分かりやすく表現するインフォグラフィック。その使い方や効果を学ぶ。統計データを扱ったり情報を整理したりしてグラフや絵などビジュアルに表す技術を身につける。
サバイバル術を身につけよう	●	●	●	●	●	いざというときに必要なサバイバルの技術や知恵を、ロープ結びなどの実践やアクティビティを通して学ぶ。グループ内で協力して話し合いながらミッションをクリアする。
橋を制作して強度を競おう	●	●	●	●	●	形や単位に関する語彙などを学びながら、丈夫な橋の骨組みのあり方、長さなどを各グループで考えて橋を作成。グループごとに工夫した部分などを発表し、おもりを使った耐久テストをして、強度を競い合う。
プログラミングを体験しよう	●	●	●	●	●	グループでプログラミング用ロボットを用い、方向や角度、距離などを計算したりする。その過程でどのようにプログラミングコードを修正したらよいかディスカッションし、プログラミングについて学びを深める。
ニュース取材を体験しよう			●	●	●	記者会見やインタビューなどの取材・記事制作を体験し、グループごとに発表してフィードバックし合う。アクティビティを通して、重要な情報を入手する方法、情報を整理する方法などを学ぶ。
ニュース番組を作ろう			●	●	●	「ディレクター」や「キャスター」など役割分担し、オリジナルのニュース番組を制作する。ニュース番組の構成やニュース原稿の実践的な書き方を学び、専用の放送機器を使って役割分担をもとに撮影する。
マーケティングの考え方を学ぼう			●	●	●	「ターゲット」や「プロモーション」などのマーケティングの基礎知識を学習する。アクティビティではマーケティングとして製品のデザイン提案や販促企画を体験し、プレゼンテーションを行う。
ショートムービーを作ろう	●	●	●	●	●	短い動画の中でどのような伝え方が効果的か学ぶ。また、情報発信者としてのメディアリテラシーについて考え、ショートムービーを作成し、専用の動画機材があるスタジオで撮影・発表する。
おもてなし文化を世界に紹介しよう	●	●	●	●	●	「包む」「折る」「飾る」などで表現される「おもてなし文化」について学習し、紹介するための言い方を学ぶ。各グループでテーマや設定に合わせて制作し効果的な伝え方を考えて練習し、紹介し合う。
東京の魅力を紹介しよう	●	●	●	●	●	近年の訪日外国人に関するデータなどを通して、「相手のことを知り情報を伝える」ことを学ぶ。都内でおすすめた場所について情報収集をして、プレゼンテーションを行う。
SDGs 地球の17の目標を考えよう			●	●	●	SDGsの17の課題について様々なシーンの写真から推察し、問題解決に向けたディスカッションを行う。これらの課題が複合的で正解のない問いであることを理解し、自分の問題として捉える素地を養う。
身近な買い物からSDGs目標12を学ぼう			●	●	●	「意思のない消費を続ける」と地球の資源はどうなるのか」という課題を、買い物を例に学びながら、SDGs目標12や「国際認証ラベル」について学習する。感じたことを効果的・印象的に伝える手法を学ぶ。
地球の未来と森の役割を考えよう			●	●	●	紙の大量消費が木々や動物たちに及ぼす影響をリアルな写真素材とともに学ぶ。立場が異なる当事者になりきり、木と紙をめぐる環境問題の多面性や他者の考え方を理解することを学ぶ。
SDGsの視点から世界の貧困問題を考えよう	●	●	●	●	●	世界で実際に起こっている貧困問題の現状を把握し、その原因・サイクルを考える。グループで問題に対する自分達なりの解決策をディスカッションし、発表する。
スピーチのテクニックを身につけよう			●	●	●	身の回りの事柄から社会的な話題まで、特定のトピックについて、グループで効果的なスピーチの構成を考える。デリバリーテクニックを学び、立場や感情の効果的な伝え方を身につけ、実践的に発表力を高める。
日本にしながら留学体験@TGG	●	●	●	●	●	クイーンズランド州現地の学校の授業を現地の現職教員が実施。国内にしながら留学体験ができます。STEAM (Science, Technology, Engineering, Art, and Mathematics) や社会など、クイーンズランド州のカリキュラムに沿った様々な教科をアクティブラーニング形式で行います。
TGGで多文化理解	●	●	●	●	●	TGG在籍の多数の国々のスタッフからの情報提供を通して、様々な国の文化や価値観に触れ、自身の文化や価値観との違いを認識する。その上で、認識した違いをどのように受容し、尊重していくかをディスカッションする。



TGG プログラム監修者
上智大学外国語学部教授
和泉 伸一

CLILを取り入れたプログラムでリアルな体験を

TGGでは、TBLT（タスクベース教授法）*とCLIL（内容言語統合型学習）**という最新の語学教育の考え方を取り入れて、多種多様なプログラムを開発しています。TBLTの考え方に基づいた「アトラクションプログラム」では、日常生活で出会う様々な課題を設定することで、必然的な英語のやりとりを促します。一方、CLILに基づいた「アクティブイマージョンプログラム」では、専門的な内容について学びつつ、課題を解決するために仲間と協力して英語でコミュニケーションを取ることが必要になります。後者の一例として「ニュース番組を作ろう」

というプログラムでは、番組構成や原稿の書き方に関する基礎知識などを英語で学びながら、一人ひとりがキャスターなどの役割を担い、グループでオリジナル番組の作成に挑みます。このような活動を通して、言葉の習得で必須とされる「内容・言葉・場面」の密接なつながりを意識した主体的な学びが可能となります。TGGでの活動は、その場で味わえる楽しさと刺激だけでなく、それをこれからの日常の英語学習と絡めていくことで、中・長期的な効果が期待できるでしょう。今後の英語授業へのヒントとなればと願っています。

*TBLT：Task-Based Language Teachingの略称で、日本語では「タスクベース（タスク中心）教授法」と呼ばれています。具体的な達成課題に取り組む中で、タスク達成能力と同時に、そこで使われる言葉の習得を狙っています。
**CLIL：Content and Language Integrated Learningの略称で、日本語では「内容言語統合型学習」として知られています。特定のトピックや専門的な内容に英語で取り組む中で、内容学習と英語習得の両方を目指す教育・学習方法です。

How to use

ご利用イメージ

ご利用日当日の時間割と前後の流れをご案内

英語漬けを実現できる「1日コース」とスタート時間を選べる「半日コース」のご利用例をご案内。ご利用の流れも合わせてご紹介します。

	1日コース (セッション1～4)	半日(AM)コース (セッション1～2)	半日(日中)コース (セッション2～3)	半日(PM)コース (セッション4～5)
8:30				
9:00	入場	入場		
9:30	チーム・ビルディング 9:00～	チーム・ビルディング 9:00～		
10:00	セッション1 9:35～10:35	セッション1 9:35～10:35	入場	
10:30	休憩	休憩	チーム・ビルディング 10:10～	
11:00	セッション2 10:45～11:45	セッション2 10:45～11:45	セッション2 10:45～11:45	
11:30				
12:00	昼食・休憩 12:00～12:45	振り返り ～12:20	昼食・休憩 12:00～12:45	
12:30				
13:00		●昼食 1日コースと、半日コース(セッション2～3)には昼食を取るスペースをご用意します。お弁当をご持参ください。 ※1日コースにはランチプログラムの時間を利用し、映像を使用した「国当てクイズ」をお楽しみいただけます。 ※お弁当のご提供はありません。		
13:30	セッション3 13:00～14:00		セッション3 13:00～14:00	入場
14:00	休憩		振り返り ～14:35	チーム・ビルディング 13:35～
14:30	セッション4 14:10～15:10			セッション4 14:10～15:10
15:00	振り返り ～15:55			休憩
15:30				
16:00	セッション5 15:20～16:20			セッション5 15:20～16:20
16:30				振り返り ～16:55
17:00				
17:30				
18:00				
18:30				
19:00				

※キャンセルポリシーは予約の際に表示される「施設利用規約」でご確認いただけます。

※「チームビルディング」開始の15～30分前が集合時間です。

	都内			都外		
	小学生	中学生	高校生	小学生	中学生	高校生
半日	2,970円	3,190円	3,190円	半日	4,070円	4,290円
一日	5,940円	6,380円	6,380円	一日	8,140円	8,580円

※引率の教職員の方々やカメラマンの方にはご料金はいただきません。
※料金に関しましては変更になる場合があります。詳細はHPをご覧ください。

- お申込み**
公式ウェブサイト(https://tokyo-global-gateway.com)の予約フォームにて必要な情報をご入力し、お申込みください。お申込みを受付した旨を自動返信メールでお知らせします。マイページにある「行程確認書」にご入力をお願いいたします。(ご利用日の91日前までにご入力ください。90日を過ぎますとキャンセル料の対象となります。)
- 事前のご準備**
ご利用日までに児童・生徒のグループ分けをお願いいたします。(5名以下、9名以上はお受けできません。)
- ご来場**
利用者全員がそろったところで8名1組に分かれて、いよいよ入場。ご予約いただいたプログラムをエージェン트의ガイドで体験していきます。当日の人数の減員につきましては100%のご利用料金を申し受けます。変更がある場合は1営業日前の17時までに電話にてご連絡をお願いいたします。「バスポート」「ネームシール」は当日チームビルディングの際にお渡しいたします。

- ご精算**
ご利用後にご請求書をお送りいたしますので、支払期日内に金融機関へお振込みください。(お振込みの際の手数料はご負担願います)
- 事後のフィードバック**
TGGよりご利用当日の活動状況のアンケート結果を学校宛にお送りいたします。授業等でTGGでの体験の振り返りを行っていただけます。

◎人数減員の場合、グループ数も変更になります。
(例:160名から152名になった場合は20グループから19グループになります)
グループ数減にご対応いただけない場合は、減員分のキャンセル料をいただく場合がございます。
また、当日の人数減員の場合グループ数の変更およびプログラムの変更が生じる可能性があります。

FAQ

よくある質問

TOKYO GLOBAL GATEWAYの施設やスタッフ、ご利用方法などについて、学校関係の皆さまから多く寄せられたご質問にお答えします。

利用方法について

Q 児童・生徒に付き添う人はどのような人ですか。

英語を流暢に操るだけでなく、児童・生徒とのコミュニケーション方法やマナーも十分に教育されたさまざまな国から来日したエージェン트가付き添います。

Q 児童・生徒に付き添うエージェン트의採用、研修体制を教えてください。

英語を流暢に操ること・高度なファシリテーションスキルを保持していることを前提に、国籍・年齢・性別にとらわれない多様な人材を採用します。また、採用時の徹底的な研修に加え、着任後も継続的な研修体制を整えております。

Q 希望者、クラブ活動等の少人数での利用は可能でしょうか。

可能です。ただし、学校利用としてご利用いただくには原則8名以上で、学校を通じてのお申し込みとなります。6名、7名のお申し込みでも8名分の料金がかかります。当日のご利用が6名を下まわる場合はプログラムをご変更いただく場合があります。

Q 引率の教職員が事前に施設を見学したり、プログラムを体験することはできますか。

無料体験会を行っております。日程が決定次第ウェブサイトにてお知らせいたしております。申込フォームにご入力のうえお申込みください。施設の案内のみも可能です。ご希望の場合はお問い合わせください。

プログラムについて

Q プログラムの難易度設定を教えてください。

アトラクション・エリアは3段階、アクティブイマージョン・エリアは5段階でCEFR-J[®]に基づく難易度設定をされたプログラムをご提供いたします。本誌では、それぞれのプログラムに対応レベルを記載してあります。※欧州共通言語参照枠(CEFR)をベースに、日本の英語教育での利用を目的に構築された、英語能力の到達度指標です。

Q 学年・クラスで受講するプログラムは全員一緒ですか。

プログラムごとに収容人数を設定しており、申込人数や当日の予約状況により全員が同じプログラムを利用できない場合があります。ホームページの予約フォームをご参照いただき、グループごとに行程を作る方法となることをご理解いただければ幸いです。

引率教員について

Q 教職員の当日の役割を教えてください。

当日、施設内では「エージェント」が児童・生徒に付き添いご案内します。教職員のみなさまは児童・生徒が活動する様子をご覧いただけます。

バスの駐車場について

Q バスの駐車場はありますか。

2023年9月1日よりTGGバス駐車場が、公共工事開始のため使用中止となりました。なお、青海・台場周辺には、バスでご利用可能な下記一般駐車場がございます。

<https://www.tokyo-teleport.co.jp/parking/>

予約について

Q 利用予約はウェブサイトではできないのでしょうか。

先着順でご予約を受け付けていますので、原則ウェブサイトからお願いしております。インターネットのご利用が困難等の事情がございましたら、お電話でご相談ください。日程や人数の変更およびキャンセルなどはウェブサイトの「お問い合わせ」または電話でお知らせください。その他、予約画面の操作方法やプログラム(行程表)の組み方など、お気軽にご相談ください。

ランチプログラムについて

Q ラunchプログラムとはどのようなことを行うのでしょうか。

1日コースのみに付属する、昼食休憩時間時の動画鑑賞のサービスとなります。昼食時間が終わった後オリジナルクイズ(動画)などをお楽しみいただけます。

※状況により変更の可能性がございます。

キャンセルについて

Q キャンセルや変更はどのようにしたらよいですか?

キャンセル・人数変更等が決定した時点で早めにお電話でご連絡をいただけますようお願いいたします。人数等の変更がある場合は1営業日前の17:00までにお電話にてご連絡をお願いいたします。※上記対応が変更となる場合がございます。詳細はWEBの「キャンセル規定」をご確認ください。